

平成 23 年 度

事業報告

平成 23 年 4 月 1 日から

平成 24 年 3 月 31 日まで

社団法人 高知県放射線技師会総会

1 . 平成 2 3 年度事業報告

1 . 会員の動向 (平成 2 4 年 3 月 3 1 日現在)

新入会員 6 名

氏 名	勤 務 先
森 亮輔	高知赤十字病院
岡 雅輝	高知医療センター
大関 亜透	田野病院
今城 健吾	近森病院
中野めぐみ	フレッククリニック
文野 孝浩	近森病院

再入会員 2 名

下本 文雄	
一円 善史	高知高須病院

会員異動

転 入	0 名	退 会	1 0 名
転 出	3 名		

現在会員数

正 会 員	2 2 4 名	賛助会員(団体)	1 0 社
(名誉会員	2 名含む)		

2 . 表 彰

瑞宝双光章

高橋 正實 (快聖クリニック)

日本放射線技師会 3 0 年勤続表彰

田村 達彦 (清和病院)

高知県放射線技師会 2 5 年勤続表彰

大西 博 (むろとぴあ医院)	宮川 和之 (高知医療センター)
東 史朗 (中村病院)	福島 和哉 (高知県立幡多けんみん病院)
山本 晃司 (高知赤十字病院)	窪田 幸一 (凶南病院)
竹村 真一 (北島病院)	大西 学 (青木脳神経外科・形成外科)
安藤 務 (岡林病院)	羽方 誠二 (くぼかわ病院)
小松 高志 (厚生年金高知リハビリテーション病院)	
池 正興 (だいいちリハビリテーション病院)	

学術奨励賞

川崎 幸治 (高知赤十字病院)

3 . 会 議

【総 会】

平成 2 4 年 5 月 2 0 日 (総合あんしんセンター 3 階 中会議室)

【理事会】

平成 2 3 年	5 月 2 8 日 (本会事務所 会議室)
平成 2 3 年	8 月 2 7 日 (本会事務所 会議室)
平成 2 4 年	1 月 7 日 (近森リハビリテーション病院 7 階 会議室)
平成 2 4 年	4 月 7 日 (本会事務所 会議室)
平成 2 4 年	5 月 2 0 日 (本会事務所 会議室)

【常務理事会】

平成23年 6月 7日(本会事務所 会議室)
平成23年 7月 5日(本会事務所 会議室)
平成23年 8月 2日(本会事務所 会議室)
平成23年 9月 6日(本会事務所 会議室)
平成23年10月 4日(本会事務所 会議室)
平成23年11月 1日(本会事務所 会議室)
平成23年12月 6日(本会事務所 会議室)
平成24年 1月10日(本会事務所 会議室)
平成24年 2月 7日(本会事務所 会議室)
平成24年 3月 6日(本会事務所 会議室)
平成24年 4月 3日(本会事務所 会議室)
平成24年 5月 1日(本会事務所 会議室)

4. その他、本会の動き

平成23年 5月24日 高知県総合保健協会評議員会(三翠園)
6月11日 日本放射線技師会総会(東京)
6月22日 高知県消防学校講師派遣(いの町)
7月 3日 いずみの病院開院10周年祝賀会(高知市)
7月10日 四国反核平和マラソン(四国中央市中心)
9月17日 全国会長会議(東京)
9月24日 J A高知病院創立80周年祝賀会
9月16~
18日 第27回放射線技師総合学術大会(青森市)
9月17日 全国会長会議(青森市)
10月 8日 中四国会長会議(岡山)
10月15日 高知大学医学部付属病院創立30周年祝賀会(高知市)
11月 5~
6日 がん患者四国88ヶ所巡礼ウォーク(宿毛市中心)
11月23日 中四国民医連放射線部門学術交流会(岡山市)
11月25日 中四国会長会議(米子市)
11月26~
27日 中四国放射線医療技術フォーラム(米子市)
12月11日 日本放射線技師会臨時総会(東京)
12月20日 高知県総合保健協会評議員会(三翠園)
平成24年 1月21日 高知県臨床検査技師会新年会(高知会館)
1月28日 香川県放射線技師会法人設立30周年式典(高松市)
3月16日 高知県総合保健協会評議員会(三翠園)

5. 文書、資料 (平成23年4月1日~平成24年3月31日)

発信文書

平成23年度理事会開催

高放技No. 3, 6, 15, 21

研修会, 講習会関係等

高放技No. 13, 14, 23

委員就任、各委員会開催、その他

高放技No. 1, 2, 4, 5, 7, 8, 9, 10, 11, 12,
16, 17, 18, 19, 20, 22

【総括】

平成23年3月11日、東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を受け、住民や作業員の放射線被ばくへの不安軽減のため日本放射線技師会は現地に放射線サーベイヤーを連日送り込むことが重要な課題となった。全国から福島に本会の会員も含め、多くの診療放射線技師が駆けつけている。また、放射線被ばくに関する相談窓口も開設し、本会も委員を選任し相談情報を日本放射線技師会に提供してきた。国民が放射線に対して大きな不安を募らせている今日こそ、診療放射線技師の役割が大きくなってきている。開催が不安視された学術大会も余震の続く青森市で盛会に開催することができた。生涯教育については、十分に活用されなかった事業推進委員に替わって教育委員を各都道府県に置き、地方での認定講習等を推し進めている。ただ、本会のように会員の少ない自治体での開催については、講師や受講者の確保に困難が予想され、近県との共同開催を視野に入れなければならない。入会促進を目的とした新人教育セミナーや技師長会、女性技師交流会等の取りくみも本会に良い影響を与えた。他にもグレーゾーン業務の取り込みなど活発になった日本放射線技師会は念願の公益社団法人への移行も現実的な事とした。しかし、役員削減の方針で本会の代議員も1名減となってしまった状況は残念である。

中四国放射線医療技術フォーラムは米子市で開催された。演題発表は166題、参加登録者も600名を数えて高知での開催と同等の成果を得た。技術学会との合同開催も標準化してきたと言える。数的に安定してきた昨今、内容の細かなすり合わせが求められている。再度、両団体の特色を尊重した中身作りを期待したい。四国内に目を投じると、4県の役員が集い放射線技師会のあり方を論議する四国サミットも今回で8回目、四国を2周して継続必要の有無が討論された。結局、次年度の中四国放射線医療技術フォーラムが松山で開催されることで、愛媛から3周目に入ることに落ち着いている。

本会独自の取りくみとしては、先ず公益社団法人への移行問題を挙げなければならない。県の指導も受け委員会を中心に申請書をまとめ、事業計画通りに申請したが残念ながら次年度への持越しとなっている。

【会員の職業倫理の高揚に関する事業】

総会後の地区会は6地区で開催され、貴重な情報交換の場となった。ただ、地区の細分化の意味合いが薄れてきていることも否めない。がん患者に関わるリレーフォーライフでは実行委員会の段階から複数の本会役員が加わり、イベントの成功に協力した。また、新たな企画として始まった「がん患者四国八十八ヶ所巡礼ウォーク」に西南地区の会員が参加した。

1. 地区会

平成23年	6月9日(H, I)	高知医療センター
	6月15日(J, K)	高知赤十字病院
	6月17日(L, M)	J A高知病院
	6月24日(C, D)	須崎くろしお病院
	6月25日(A, B)	木俣病院
	6月30日(E, F, G)	総合あんしんセンター

地区活動部会

平成23年	7月3日	総合あんしんセンター、
	8月3日	高知医療センター
	10月23日	高知医療センター

2. リレー・フォー・ライフ in 高知 2011

平成23年10月 8日～9日 城西公園(24時間ウォーキングラリー参加)

3. 四国サミット

平成24年 1月21日(松山市)

【診療放射線技術の向上発展に関する事業】

診療放射線技術の向上発展に関する事業は、新公益法人へ向けた新定款では「診療放射線学の研究ならびに調査に関する事業」に包括され、公益事業の1番目に位置する。

高知県放射線技師学会は学術研究活動の柱となる大切な事業であり、私たち診療放射線技師が研究を行い、研鑽を積んで成果を発表し、それを県民の保健医療に活用していかなければならない。我々が、安全で質の高い放射線技術を駆使して、医療機関において受益者である患者さんに高品質の医療を提供することが、この事業目的の根本理由である。

今回の高知県放射線技師学会大会では、新人からベテランまでそれぞれの職場での研鑽ぶりが良くわかる発表内容であった。医療機器管理メンテナンスと、人の資質や、向上発展につながるマネジメントサイクルに関する発表もあった。医療機器管理は厚労省からの通達文も多く、特に4列以上のCTや1.5テスラ以上のMRIは施設基準の届出にあたり安全管理責任者の氏名の明記や自動注入器を含めて保守管理計画の提出が求められるようになった。人事管理も意欲を持って業務し、向上心を養い、やり甲斐のある職場を目指すという点で、機器管理と両輪の輪であると思う。新しい医療技術や手法への取り組みも、より安全で質の高い技術を駆使し、患者さんに対する低侵襲性検査への取り組みは、患者さんにとってやさしい医療の提供につながる。

また、放射線分野から飛び出して、医療という大きな枠で医師や看護師と共に研修を行うこともチーム医療の一員として不可欠な活動である。

学会大会は例年通り2月に開催することができ、各施設の発表では質量ともに診療放射線技師業務の広がりが見られた。昨年度の本大会学術誌も発行され、貴重な情報源となっている。

高知県放射線技師学会大会

日時 平成24年 2月25日(土) 13:00～17:00

場所 総合あんしんセンター中会議室

13:00

演題発表1 13:10～13:50

座長 高知赤十字病院 山本晃司

当院のマンモグラフィ用IP交換について

J A 高知病院 小松勇介

新人教育のPDCAサイクルによる自己評価

近森病院 文野孝浩

当院(中規模50床)でのPACS使用経験：導入より6年を経過して

北島病院 高橋和雄

Patlak RVR法における注入時間一定への試み

高知医療センター 所谷亮太郎

演題発表2 14:00～14:50

座長 近森病院 中村伸治

日本 DMAT 隊員養成研修を受講して

高知医療センター 廣瀬泰久

透析患者のシャント血管からの深部静脈造影について

高知高須病院 一円善史

腹部 CT における AsiR の有用性

近森病院 今城健吾

当院における非造影下肢 MRA の検討

高知赤十字病院 川崎幸治

15:00

フィリップス学術講演

演題 CT 新技術のご紹介（逐次近似再構成法に拠る臨床的有用性を中心として）

演者 (株)フィリップスエレクトロニクスジャパン ヘルスケア事業部

CT モダリティスペシャリスト 北織 潤一 先生

16:00

日本放射線技師会 指名講演

演題 JART 生涯学習システムと将来への展望

演者 日本放射線技師会

学術担当常務理事 児玉 直樹 先生

17:00 閉会

【生涯教育の実施に関する事業】

本年は原子力発電所の事故もあり、診療放射線技師として知っておかなければならない法令やサーベいの仕方という基本的な講習会から始めた。また各施設の放射線測定器の校正方法についても学びあい、技師としての付加価値を高めるよう企画実行にあたった。また各地区での自主的な勉強会も昨年同様に実施している。

1. 第1回講習会

日時 平成23年 7月23日(土) 15:00～17:00

会場 総合あんしんセンター3F 中会議室

演題1 放射線技師が、受けたい授業！

放射線技師のための必ず役立つ法令関係 医療法・電離則・障害防止法

講師 住重試験検査株式会社 金川 政史 先生

演題2 福島第一原発事故から学ぼう！

診療放射線技師が知っておくべき知識 ～サーベイ方法・住民への説明～

講師 住重試験検査株式会社 小寄正彦 先生

2. 第2回講習・研修会(サーベイメータ校正)

日時 平成23年10月 8日(土) 14:00～

場所 総合あんしんセンター3F 大会議室

校正費 10,000円/1台 (会員以外の持込は20,000円/1台)

演題 ^{137}Cs 標準線源を用いたサーベイメータ確認校正講習会

講師 住重試験検査株式会社 金川政史 先生、小寄正彦 先生

3. 第3回講習会

日時 平成23年11月 5日 15:00~
場所 総合あんしんセンター 3階 中会議室

演題1 日立の超伝導MRI「ECHELON Vega」における最先端撮影技術
(RADERによる動き低減の実際)

演者 日立 MRI戦略本部 担当課長 八杉幸治 先生

演題2 日立の先進的MRI ECHELON の使用経験

演者 高知赤十字病院 高橋健次郎 先生、三好裕司 先生

4. 中央南地区勉強会

日時 平成23年 4月16日(金) 15:00~
場所 高知医療センター2F くろしおホール

演題 「これって異常? していると迷わない正常変異と偽病変の基礎知識」

講師 高知医療センター 秦 康博 先生

5. 西南部地区画像研究会

日時 平成23年11月19日(土) 16:00~18:00
場所 幡多けんみん病院2F会議室

演題 「症例による画像診断」

講師 高知医療センター 野田 能宏 先生

6. 特別講演会

日時 平成24年 1月 7日(土) 17:00~18:30
場所 近森リハビリテーション病院 7階会議室

演題1 「腹部疾患読影の基礎」

講師 大阪物療大学 教授 金森 勇雄 先生

演題2 「MR基礎編」

講師 J A 岐阜厚生連 揖斐厚生病院 診療放射線技師長 丹羽 政美 先生

演題3 「頭頸部疾患読影の基礎」

講師 鈴鹿医療科学大学 教授 藤野 明俊 先生

7. 東部地区勉強会

日時 平成24年 1月20日(土) 19:00~
場所 J A 高知病院 五階会議室

演題 「GE MR最新トピックス」

講師 GE Healthcare Japan MR Sales & Marketing 池田 陽介 先生

【診療放射線学に関する研究と啓蒙に関する事業】

件数は少ないものの本年も医療施設の漏洩放射線量の測定に出向いた。啓蒙としては、ホームページを活用して広報活動を展開した。医療被ばく相談にも対応し、リレーフォーライフでは相談コーナーも設置することができた。

1. 広報活動

高放技ホームページ（HP）による広報活動を行った

2. 漏洩線量測定

平成23年 5月 7日 大栃診療所

平成23年11月12日 大栃診療所

3. 医療被ばく相談対応+（対応者：北川保浩）

日本放射線技師会からの要請に応じて各施設における医療被ばく相談件数を報告した。

4. 医療被ばく相談コーナー設置

平成23年10月 8日（土）、リレーフォーライフ会場で、相談コーナーを設置した。

【会員の福利及び相互扶助に関する事業】

瑞宝双光章の叙勲受章を最高に、各表彰事業に取り組んだ。また各地区では様々な会員を中心に交流の催しが開催された。事務局では本会会員に対して主にホームページを用いて求人求職情報を流した。

1. レクリエーション

平成23年10月10日 ボウリング大会（中央南地区主催、ポウルジャンボ）

平成23年12月 2日 忘年会（東部地区、喰太郎）

平成24年 1月 7日 新年会（蔵り）

2. 表彰

叙勲（瑞宝双光章）

日本放射線技師会30年勤続表彰

高知県放射線技師会勤続25年表彰

3. 求人求職の対応

【図書印刷物の刊行に関する事業】

最も身近な広報誌「技師会だより」は今年も毎月発行することができた。新たな取組みとして所感を役員が交代で書くことにし、内容的に客観性を高めた。学術大会抄録集や本会の情報誌である放射線高知も発行できた。

1. 平成22年高知県放射線技師学術大会後抄録

2. 下記の文書について記録保管を行った

平成22年度総会議事録

平成23年度理事会議事録

平成23年度総会議案書

3. 技師会だより

毎月発行した
地区活動の報告を掲載した
理事会の議事録を掲載した
企画・学術教育・地区活動等，各部よりの文書を掲載した
会員からの投稿を掲載した
配布方法はEメール配信，配達，郵送の3種類とした
会紙の内容を高放技ホームページ（HP）上で公開した
リレーエッセイのコーナーを連載した
「新入会員いらっしやい」コーナーを連載した

【その他本会の目的達成に必要な事業】

本会の運営に必要な委員会を随時開催して事業に当たることができた。特に法人移行申請に関する検討委員会は頻繁に開催され力を発揮した。

1. 法人移行申請に関する検討委員会

委員長 秦泉寺節夫
委員 北川 保浩
平成23年 7月28日（本会事務所 会議室）
平成23年 9月 1日（本会事務所 会議室）
平成23年11月 8日（本会事務所 会議室）
平成23年11月10日（本会事務所 会議室）
平成24年 3月15日（本会事務所 会議室）
平成24年 3月22日（本会事務所 会議室）

2. 表彰委員会

委員長 畠中武治
委員 楠瀬 正 徳橋元久
平成24年 1月 7日（近森病院・会議室）

3. 総会運営委員会

委員長 羽方誠二
委員 土居啓太 保川幸稔 森安由圭 小松勇介 淵上伸一
平成24年 4月 7日（本会事務所 会議室）
平成24年 5月20日（総合あんしんセンター3階 中会議室）

4. 選挙管理委員会

委員 宮地 聡 西内恒太郎 中坂洋康 吉永優一 大田裕司 宮城秀平

5. MDC T研究会

日時 平成23年 4月23日（土）16:00~18:00
場所 高知医療センター1F研修室

（5. は後援）